



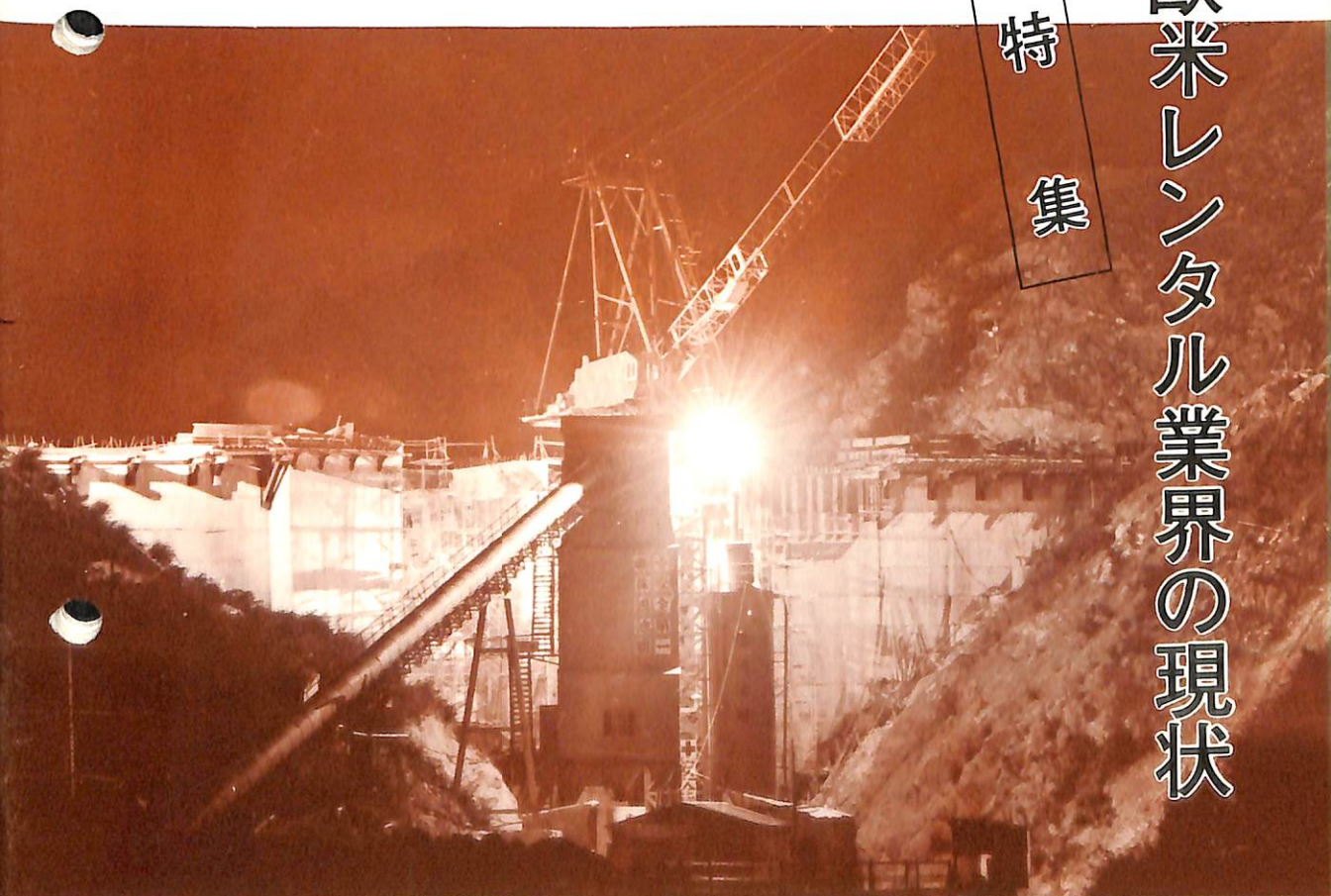
会報

No. 6

'76 新年号

特集

欧米
レンタル
業界の
現状



社団法人 全国建設機械リース業連合会

— 野外の動力源は **デンヨー** 製品で! —

作業現場で
静かなブームを
呼んでいきます。

防音型 エンジン発電機



● DCA - 200SS

※特長

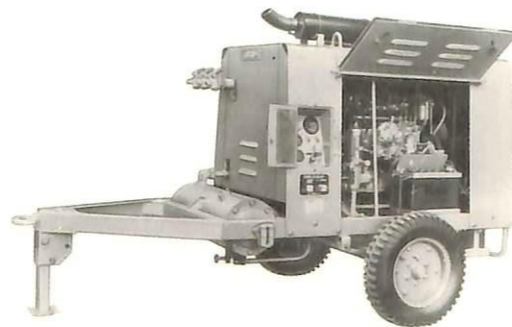
- 低騒音で使用場所を選びません
- 機種が豊富でお求めやすい価格です
- 安定した性能で耐久性も抜群です
- アフターサービスも完全です

防音型 エンジン溶接機



● DBD - 230YSS

防音型 エンジンコンプレッサー



● DPV - 125SS

デンヨー株式会社

本社 東京都中野区上高田4-2-2
☎ 03(389)3111代表 ☎ 164
営業所 札幌・仙台・新潟・東京・横浜・
川越・宇都宮・静岡・名古屋・金
沢・京都・大阪・広島・高松・福岡

会 報

◎ '76 新 年 号
社団法人全国建設機械リース業連合会



目 次

[年頭所感]	建設省大臣官房建設機械課長 桑垣悦夫……………(2)
	全国建設機械リース業連合会会長 山内鹿蔵……………(3)
	全国建設機械リース業連合会副会長 中村 憲……………(4)
■重機協議会を設置……………	……………(5)
■海外レポート	●欧州レンタル業界視察報告……………小俣修一……………(6)
	●米レンタル業界視察報告(現地でのミーティングの概要)……………(10)
■雇用調整給付金支給業種指定申請の報告……………	志茂法人……………(12)
= 新規加盟ごあいさつ =	兵庫県建設機械協同組合リース部会長・桐月正邦……………(13)
	●写真特集……………(14)
■主要行事一覧……………	……………(16)
■編集後記……………	……………(32)
■連合会会員名簿……………	……………(表3)

表紙写真説明

(写真提供：(株)鴻池組)

丸山貯水池築造工事

- 工事概要 —
- 発注者 西宮市水道局
 - 工事名 丸山貯水池築造工事
 - 貯水池 河川名 武庫川水系船坂川
ダム位置 兵庫県西宮市山口町下山口
総貯水量 2,442,100立方m
有効貯水量 2,052,100立方m
 - ダム 形式 直線重力式コンクリート
堤高 31m
堤頂長さ 71m
 - 工期 昭和48年4月3日～昭和50年10月31日
 - 施工主体 株式会社 鴻池組



年頭所感



建設省大臣官房建設機械課

課長 桑 垣 悦 夫

昭和51年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

わが国の経済は、オイルショック以来、景気の低迷が続き、不況と混迷のうちに昭和51年の新しい幕明けを迎えることになりました。政府は、わが国経済を安定成長経済への軌道にのせるため、予算の大幅補正、公定歩合の引き下げ等、数次にわたる景気浮揚策を講じ、さらに昭和51年度予算の編成においても公共事業関連を最重点とした財政主導の景気浮揚型を採用しております。

また、経済運営についても、これまでの景気回復志向から景気刺激型へ軌道修正され、景気

の着実な回復が図られております。

しかしながら、国および地方公共団体のかつてない財政難等、予想外の消費需要の停滞が続くなかで、景気の俄かな上昇を期待することは極めて困難な状況であります。

このような厳しい現下の情勢は、建設機械賃貸業にとって業界発足以来の難関期といえましょう。

しかし、このような時期にこそ、社団法人全国建設機械リース業連合会会員各位は、より結束を固め、新しい経済環境への対応策に取り組む必要があるかと思えます。

建設事業に適合した対応策が肝要

建設機械を取り巻く環境には、機械そのものの保有の性能等、機械を取り扱う人と、さらに機械の稼働にともなう騒音、振動等の問題があります。建設機械の良好な整備と安全な運転、さらに施工技術の向上は合理的な経営をする場合の重要な基盤となります。

また経営の合理化をより一層推し進めるためには、的確な見通しに見合った設備投資をする必要があります。ことに無理な設備投資は、金利負担の増大と、償却不足を生じ、企業経営を圧迫することになります。

以上、2・3の問題点を取り上げましたがい

ずれにしましても、この際、会員各位が経営者としての認識を新たにされ、自らの経営体質を客観的に観察し、最近の建設事業に適合した対応をしていくことが肝要であります。

建設機械賃貸業は、投資財流通の新しい態様の担い手として、世間の注目と期待のうちに生まれた未だ若い産業であります。

不況に明けた厳しい年ですが、これを新たな発展への試練の年としてとらえ、会員各位が一丸となって、この難局にあたり、業界が確固不動の地位を一日も早く築かれるよう期待いたしまして年頭のご挨拶といたします。

年頭所感



(社)全国建設機械リース業連合会

会長 山 内 鹿 蔵

昭和51年の新春を寿ぎ迎えるに当たり、昭和前半期が如何に変遷の激しかった歴史の流れであった事をいま更感銘深く思い起させます。この間、特に戦後復興と共に経済的に高度成長から零成長へ急角度に転落した昨年1年の歩みは、昨年初めの予想以上に社会、経済、政治面で私ども業界に最も厳しい条件の連続であり、1年を通じて不況対策に終始し、年末に至り漸くその極限に達し、東京支部においてその対策の趣旨徹底のため、抜本的協議の積み重ねと会員各位の反省と自覚と相俟って、基本的解決策を見出すまでに進展し、いま実践の段階に入っており、51年の新年に明るさを取戻す事ができた

のは誠に歓喜に堪えない次第であります。

顧みてドルショック、石油危機、インフレーション、総需要抑制、金融引締強化、スタグフレーションの横行、大小企業の不渡倒産の続出、ストライキの長期化による企業活動の減退等、目まぐるしいまでの情勢変化は、私ども業界も例外なく受注激減、生産過剰の板挟みに保有機械の余剰供給過多は雇用調整に迫られ、遂に過当競争、ダンピングに継がり、リース業界も従来の堅実な企業として発達してまいったのが赤字経営に追込まれ、このまま推移すれば業界の崩壊破滅も免れない昨今の現状であります。

経営改善と企業方針の転換期

いかにしてこの難関を突破すべきか、去る7月、賛助会員である北越工業㈱の協賛によるアメリカ東部のレンタル業界の見学、ARA東部訪問と研修のため55名の参加、さらに11月には連合会企画によるヨーロッパの企業訪問と研修に32名が参画いたしました。そのいずれの場合も企業体質の特異性はあるが、欧米とも不況の影響を受けながらも需給の安定度は日本よりは遙かに良好と見られ、常に低成長の経済に平行して年間平均50%以内の稼働に止めながら業界は常に良識の上に立って、業界のプライドを保ち、モラルを守り過当競争的競争を避け、低成長ながら余裕をもって着実に進歩しつつ、向う20年はリース・レンタル業界の発展を期待している状態です。日本全国の会員の自覚、反省と別な意味での経営改善と企

業方針の転換期にきているといえるでしょう。

51年以降のリース・レンタル業の具体的な在り方として機種改善により公害、災害の防止、いわゆる福祉に繋がる企業として、尚保険等による需要先へのサービスの徹底、優良オペレーターの養成、また建設機械、機材以外の工作機械、農機具、医療機器、家庭用具、パーティー用品等へのレンタル業務の拡張も、地域の特色に併せて考慮すべきであると思えます。

次に不況対策と経営の合理化を計るため「談いと提携」の場を会社内協会内で必ず実行して、この低成長経済の時代を堅実かつ安定した態勢で臨むべきであり、今こそリース千年の計を樹立して健全経営の段階に持込むチャンスであります。全国会員構成員の益々の発展を祈る次第であります。

年頭所感

(社)全国建設機械リース業連合会

副会長 中村 憲



昭和51年の新春を迎えるにあたり、皆様方におめでとうございますとお祝辞を申し上げますと共に、今年こそ不況を戻って、好転する景気を祈念してやみません。

特に本年は、政界では衆議員の改選により一新した政策が打ち出されることが期待されますが、未曾有のエネルギーショックの傷手が3年も続き、不況のドン底をはい上るに非常な努力を続けてきましたが、企業は蓄積された体質をほとんど喰いつぶされているといっても過言ではなく、抜本的な景気浮揚策の迅速な効果が望まれ、建設事業に懸る事業量の増大と早期発注が望まれる次第でもあります。

しかしながら、過去の高度成長経済は再びこ

ないことを何人も疑いません。但し、不況対策と建設産業との相関は過去の歴史が物語るように主要な役割を果たしております。公債発行と中小企業の生きる途の相関こそ運営の適正さであり、神のみぞ知ると言う訳であります。

私達は、建設事業の機械化による技術革新に伴い、ユーザーには「機械は使用するも持たず」を合言葉にサービスに努め、建設工事の実質向上に貢献してきたことを自負いたしていますが、一方では技術者育成と労働安全といった面の基本的ではあるが間接管理費の上昇に反し、リース料金の低下と過当競争に伴うダンピング等の悪循環にさいなまれています。

過当競争の排除で共存共栄を

人頼りは昔日の経済では通用しても今後の厳しい規制により見直さねばなりませんし、その道に副って企業を守って行くのに率先しなければ頼る者なしでしょう。

このような折柄、同業の連合会による横の情報交換にメリットがあります。いたずらなダンピングはやめ正常な商取引と、労働安全衛生の尊重と実践が望まれ、50年代に入った初年度がこれからの半世紀を飾るに悔いのない企業防衛と社会環境に馴染む条件と思われれます。そこ

に財源は湧き、健全な秩序の基に生活が営めるようになるかと思えます。

年の始めに苦言を列記しましたが、われわれは山積する諸問題と取組むのに先ず経済の安定が先決であり、手近かなダンピングという過当競争の排除で共存共栄を図る約束をしようではありませんか。そして社会的責務を完遂し、国土建設と社会福祉の向上に役立ちたいと祈念する次第であります。

重機協議会を設置

重機部門の連繋強化を図る

全建リース連では、重機部門の共通する当面の問題解決と同部門の全国会員との連繋強化を図るため「重機協議会」を設置する。これについてはすでに小委員会で細則が研究、検

討されており、3月に開かれる理事会で正式に決定される。なお、会長には宮野正三(中部)副会長には藤井孝治(日本重機械)会田寅次(関東メンク)の各氏が就任の予定。

趣旨

ご承知の通り(社)全国建設機械リース業連合会も、北は北海道から、南は九州まで、17団体を包含し、参加業者も650社を数え、役所に対する交渉団体までに成長したことは会員皆様の団結の賜ものご同慶にたえない。

然るにその大多数が軽業者であるため建設機械は重機械を以て主体とされている、建設省サイドからは多分にその意に反するものがある。さらに建設業界における重機の重要性を云々するまでもなく、工事において先ず先行し、その工事費の大半を制するのは重機である。また災害復旧の時、現場へ一番乗りして住民の救済を真先にできるのも重機である。

しかしながら今やご存じの通り公共事業の発注抱束のため工事激減の折柄重機界は言外の困窮状態にあり、正に戦国時代である。加えて機械の単価が高額のためその割賦支払金も経費の20~30%と上回り、その資金繰りは想像以上のものであり、また保全のための出費も相当な金額である。現在各地区の有志相寄りそれぞれ、少数団体を構成して共通する当面の問題の解決に努力をしているものの単一地区別では問題が大き過ぎて最善策の生れようもなく、坂をあえぎあえぎ上っている蒸気機関車のような現状と申し上げても過言でない。

「重機の行く処、必ず軽機あり」決して軽機の皆様も他山の石でない事をご理解いただき、今ここに重機業者も包含した、名実共の連合会の確

立を期したいのである。

全国のお知恵を拜借して重機部門の設立の一日も早からん事を要望する次第である。

規約案

- 1、この会の名称は、(社)全国建設機械リース業連合会重機協議会と称す。
- 2、この会は、会員相互援助の精神に基き建設産業の健全な発展に寄与することを目的とする。
- 3、この協議会の地域は全国とする。
- 4、協議会の事務所は連合会の本部内に置く。
- 5、この協議会は、会員の正常なる業務を確保するため、実情賃貸料金の調査を行う。
- 6、前項の調査結果および諸物価の推移に基き適正なる賃貸料金を堅守する。
- 7、会員は常に完全整備の機械の提供をはかると共に適正料金の確保に努める。
- 8、会員の他地区における、受注に対し、その地区の会員は極力協力援助し以て共存の実をあげる。
- 9、この規約は昭和 年 月 日より実施する。

内規

1、この協議会の加入資格者は、(社)全国建設機械リース業連合会会員にして、重機の賃貸を行う者を以て構成する。

1、会員は、企業の健全なる発展を図ると共に過当競争を慎み、他人に損害を与えるが如き行為のあった者に対し会議の上仲間取引の停止又は脱会を求めることができる。

ヨーロッパのレンタル業界

を訪ねて



小 俣 修 一

— 協会組織はない —

〔リース業界の組織について〕

日本のような協会制度はなく、一部でクラブ（7～8社）を作っている程度。フランスではそのクラブが3つ（ボルドー、リヨン、パリ）ある。それぞれの都市のクラブは日本のように組織化されていないとのこと。なお、ロカスッド社は一つの財閥の中に入っており、親会社は土木建設機械を作っている会社で、全てこの運営資金は親会社の方から調達している。他のフランスの法人組織のリース業者は銀行から資金の調達をするということが非常に少なく、ほとんど親会社から資金の調達をすることが多くなっている。

〔リース業の経営上の問題〕

①リース債権の管理方法について

（請求書の書き方）1カ月以上の機械を貸した場合は、その月の間に請求書を送り、30日の手形をもらい、もし1カ月未満（1週間単位）の時は、機械を出した日から24時間以内に請求書を送る。そして30日の手形で資金を回収する。リース料金の確立方法は、1カ月の場合と1日の場合がある。1～8日までは1日の料金を請求し、1週間を超えた時は1日の料金より安くする（5～10%）が、機械の種類によって大分違うとのこと。

11月4日午前10時、フランス・パリのシエスネル・エ・シアン社に到着。シアン社長の出迎えを受ける。同社はリース・レンタル専門ではなく建設業であるが、顧客の要望に応じてレンタルを行っているとのこと。工場および置場の機械の種類は、一昔前の建設屋さんの倉庫が払い下げになった機械のようになかなか古い物が多く見受けられた。

2番目に訪問したロカスッド社は、パリから車で南へ30分程走った所にあり、前社と違い完全なリース・レンタル会社。同社はかなりの規模で敷地も広く、実にきれいに整然と機械を並べている。コンクリートミキサー（10切位のポット型、スミス型、ゼガー型）、インパクトローラー、ダブルバイブレーションローラー、小型タンデムローラー、タイヤローラー、バケットのついた小型車、フォークリフト、エンジンポンプ、水中ポンプ、コンプレッサー、発電機等々、ざっと見たところでの主な機械である。

フランスのリース業界の機械の平均稼働率は50%位で、ロカスッド社ではポンプ（エンジンポンプ…10PS～50PS位）の稼働率が非常に良いとのことである。

なお、ロカスッド社で、前社の社長シアン氏も交えて、前もって用意した質問を受けてもらう。

（減価償却について）3年で減価償却をし、1年間に6カ月リースできればいいということである。

新しい機械を購入した時は、稼働率が50%のため、3×6カ月=18カ月で全ての減価償却ができるが、それプラス管理費、人件費、修理費を入れて3年で減価償却ができるようになっている。（機械の価値による減価償却で）税金が入っていると減価償却は5年で行う。またPRは売上げの1%以下で、ほとんどしていない。



②標準の利益は売上げの何%位が最適か
標準利益は売上げの10%位が最適と考えている。

③コンピューターの利用状況

コンピューターは全く使用していない。個人的な意見としてコンピューターを入れて管理運営をした場合は、法人会社は前述の利益10%よりむしろ5%の利益で満足すべきである。

— 従業員の平均年齢33歳 —

〔人事管理について〕

①従業員の採用方法は

工場のサービスマンの採用については会社が成功するか否かの大きなポイントである。採用はすべて新聞広告を出して行っているが、技術者を求められないため、未熟者を雇い、企業内で職業訓練を行っている。

②従業員の平均年齢および平均勤続年数

平均年齢は33歳位。平均勤続年数は12年。従業員数は事務員、機械工、修理工合せて17名。このうち機械工は10名である。

④就業時間と給与規定

就業時間は週5日間で45時間。朝8時から昼12時まで、12時から18時まで休憩、18時から18時まで。フレックスタイムは導入していない。また入れる意思もない。

月給制。フランスでは最低保障金制度がありこの最低賃金が1500～1600フラン。労働者はこの最低賃金を必ず確保でき、各産業別にも賃金体制が決まっているほか、各職務（経験年数によっても）に応じての賃金も決まっているので、それに沿った給料を払わねばならない。パリの優秀な工具の場合、税抜きで月2200フラン取っている。それプラス日本のボーナス的なクライムとして1カ月分。暮になると利潤の分配を労働者に出している。

残業手当は、週40時間以上働いた場合は超過した分の1時間につき25%までの時間給がつく。有給休暇は4週間（夏）。

一方、フランスの法律で売上高の1%は従業員の教育研修にささげなければならなくなっており、専門的な機関で社員の教育研修を行なっている。また、全ての社員に生命保険を掛けている。

〔リース業界の将来について〕

2、3年前は石油危機で不況に落ち入り大変だったが、やっと脱出した状態である。今後20年間は、フランスのリース業界は発展すると思われるし、最近、土木建築機械メーカーは機械を売るよりもリースをするという方向に傾いている。

〔市場開拓の方策〕

電話帳などでユーザーをピックアップし、リストを作成してダイレクトメールを送り、顧客の勧誘をしている。

西ドイツ・フランクフルト市郊外クリスラル、ブラウウッドポーツジス社。大はメンク、ダンブ、ローラーから小は水中ポンプまで、かなりの規模の会社で工場内は明るく、暖房までしている。同社はアメリカとイギリスの合併会社で、

海外レポート

建設機械の販売部門では世界最大を誇っている。また、ゼネラル・モーターズのドイツ総合代理店をかねている。

リース業の組織弱体

〔リース業界の現状および発達の背景〕

①リース業界の組織について

ドイツには日本のような大きなリース業界の組織はない。

②リース業の発達の背景は何か

いままでは販売を主としていた業者が販売だけでは経営が苦しくなったため、リースの形をとるようになった。さらに景気の後退とユーザーが購入するより借りる、という希望が増えていることである。

③リース業の社会的地位は

一定のしっかりした地位を保っている。

④日本のリース業界について

日本のリース業界については訪問されるまで全く知らなかった。大体、いま聞いた範囲では日本のリース業は規模が小さく、またドイツの建設機械が多く輸出（日本に）されていることなどドイツの方が進んでいるのではないかと。

手形の取引なし

〔リース業の経営上の問題〕

①リース業界に対する税制について

特別な税制の処置はとられていない。事業税は取引総額の1.7%（総売上高）

②リース資金の調達方法について

自己資本75%、他は銀行借入れするが、イギリス、ドイツの合弁会社なので、銀行借入れにしても全世界の銀行の中で一番安い所から借りている。担保としては機械および土地建物である。なお、資本金は550万ドル、全世界で8000名の社員が働き、69カ国に支社がある。またその支社の下に5カ所の支所がある。

③リース債権の管理方法について

④リース料金の回収方法および実際の回収状

況について

月額支払の時は小切手または現金で、これ以外の支払・貸出しはいっさいしない（手形の取引はしない）。

⑤レンタル機械の客先における破損、紛失等に対する対策について

借りる側が機械を借りる時に保険を掛けることを要求するし、また契約書の条項の中に入っているため必ず借りる側が保険を掛けなければならないことにしている。



⑥貸与物件の減価償却方法は

一般の土木建築業者と同じく、機械に決められた耐用年数に応じた減価償却が行なわれる。

⑦稼働率は年平均どのくらいか

大型機械は60%~70%（メンク、ダンプ等）しかしドイツ国内における地域差は大きい。

⑧運送費は客先負担か

先方負担である。

⑨PRは売上げの何%位を費やしているか

取引総額の5%（営業マンの費用として）

⑩レンタル料金算定のための原価計算は

新品の価格の10%が理想だが、競争により6%が現状（日額）

⑪標準の利益は売上げの何%位が最適か

2年位でリースした機械は売られてしまうと、2年位だと新品同様の価格（80%位）で販売されるという点から非常に利益が上がっている。

⑫コンピューターの利用状況について

世界に拠点があるので全てコンピューターによって処理されている。

海外レポート

今後の発展は大

〔人事管理について〕

①従業員の採用方法は

専門誌、業界誌に広告を出している。

②従業員の平均年齢および平均勤続年数

35歳。7年位

③就業時間等について

週40時間。午前7時から午後4時まで。午前中15分間の朝食休憩と昼休み45分間、午後は休憩なし。定年は63歳。フレックスタイムは採用できない。年間休暇、平均有給26日（土、日曜日は除く）

④給与規定

④基本給の設定

ドイツでは産業別に労働組合の代表と話し合いの上、給与規定を決めていく。

⑤付加給与の有無（残業給与・能率給）

一部で優秀な者に対して行なわれる。

⑥従業員の教育・研修制度について

職場において先輩から学んだり、機械の購入先から技術員を派遣してもらうため、研修制度

は設けていない。

⑦従業員の福利厚生について

病気になった時、6週間、給料の全額が支払われることが法律で決められている。6週間以上の時は、給料の80%が1年間支払われる。

〔リース業界の将来について〕

リース業界としては、いま以上に大きくなり、近い将来には2~3倍程度の規模にまで発展しそうである。そのための特別な動きかけはしていないが、市場自身の性質として自然に大きくなっていくものと考えられる。

（株）オマタ土鉞機商会・戸田支店長）

同レポートは、昨年11月、全国建設機械リース業連合会主催による「ヨーロッパレンタル業界視察」の結果をまとめたもの。

MEIWA

◎タイヤローラー◎バイプロランマ

◎振動ローラー◎バイプロプレート

◎スローコンパクタ◎コンクリートカッター

(S) 株 明和製作所

代表取締役 月原 貢

本社	川口市青木1-18-2
工場	☎0482(51)4525(代)
大阪営業所	☎(06)961-0747-8
福岡営業所	☎(092)411-0878・4991
広島営業所	☎(0822)93-3977(代)・3758
名古屋営業所	☎(052)361-5285-6
仙台営業所	☎(0222)564232・571446
札幌営業所	☎(011)822-0064



海外レポート

アメリカ建設機械レンタル業界の現状

視察報告（現地ミーティング）から

＝ 一部省略 ＝

— レンタルは100年前から —

アメリカのレンタル産業の発達過程とARA（アメリカ・レンタル・アソシエーション）の活動について

●貸出業としての形態は100年位前からで、本格的業種としては1948年ごろにフランチャイズシステムがとられてからである。その後は、そこから多くの同業者が独立し、アメリカ全土に広がっていったわけである。アメリカのレンタル業は取扱品目が非常に広範囲にわたっている。たとえば、医療設備機器とかパーティー用品、家庭用品、建設機械器具等々、実に様々な分野にわたっており、その辺が比較的建設機械中心という日本の場合と違っている。

ARAの創立は1955年、今年で20周年になる。当時は35社程度だったが、現在では2300社。そのうち建設機械専門業者は20%。

ARAの活動としては、全国会議と展示会の開催、最新の安全規則等の情報の伝達、償却、あるいは事業活動の調査、さらには販売促進のための資料の提供などである。このうち会議と展示会は毎年1回（4日間）開き業界に対する教育的内容をもっている。

— 償却制度に問題が —

機械の償却についてはどうか。たとえばコンプレッサーの場合、何年で償却するのか。

●会計制度で許されている範囲内で償却する方法がいくつかあるわけだが、現在の償却制度は技術的に時代遅れの点があるという問題がある。過去に設定された償却の例は、現在のインフレの時代では、そのまま当てはめることは難しい。

一般的な始業時間と終業時間および週間の作業時間はどうか。

●午前7時30分から午後5時ないしは6時ごろまで。週間の作業時間は1週間5日～5日半で40時間～50時間。しかし週間労働時間が40時間で締結されているので40時間を超える作業時間については法律で1.5倍の賃金が支払われる。



レンタル料金が1日当り原価の2%、1週間当り原価の6%、1カ月当り原価の18%というように決められているそうだが……。

●レンタル料金の設定については、その手引、というものを発行した会社があり、その中の一つの標準的なものとして、このような例を提示している。これからの一つのパターンとして出されている数字であり、業者によって個々の計算があるはずであるということである。

営業活動とPRについて

●当社（フランク氏）の場合、小さな町で長年商売をしているので町中でよく知られており、セールスして歩くということがラジオやテレビ

全建リース連のアメリカ・レンタル業界視察は、現地でも反響を呼び、ARA（アメリカ・レンタル・アソシエーション）の広報誌「レンタル・エイジ」の十一月号で大きく報道された。



リース・レンタルの有利性の認識高い

を使うことよりも効果がある。ただ一方では職業用の電話帳に広告を出すということもしている。

機械の受渡しはどうか。

●小さな町では70～80%は店頭受渡しだが、大きな町では交通事情などもあり、逆の立場になる。

運賃はどうか。

●レンタル料とは別立てになっている。たとえばバーグさんの地域では1時間当り15ドルの運賃をいただく。

建設機械のレンタル業が日本へ進出することは今後考えられるか。

●アメリカのレンタル業というのは、ほとんどが非常に局部的（地方）なものであって、全国的な組織（企業の）あるいは国際的な活動というのは今のところまだない。ただ例外としてハーツの自動車レンタル。同社は国際的な組織を持っているが、通常一般的なレンタル業は非常に地域的に限られているのが現状である。

アメリカで一番、工事量の多い州はどこか。それに対する工事高と機械の損料はどれ位か。最初のご説明によると年間100億ドルの工事としたら20億ドルは機械損料に使われている。そのうちの50%がリース料で調達されているとのことだが、残りの50%の使用率（建設業者の保有機械）をどのように獲得しようとして

いるか。それは自然の状態に任せているのか。アプローチして具体的に方策を講じているのか。

●現在、一番活発な州はカリフォルニアとテキサスである。工事高についてはわからない。工事損料については高速道路などは非常にかかり、1ドルの工事に対して45セントが材料費、25セントが賃金、18セントが一般管理費および利益16セントが施設機械設備の損料ないしコストである。

その施設機械とリース・レンタルのかね合いはどうか。

●個々の業者の体質によって一般的にどうとは言えないが、協会で調べたところによると、コントラクターのうち65%は少なくとも10%以上レンタル機械を使っている。小さな建設業者ほどレンタルの比率が高くなる。やはり操業度と機械を買うコストの関係からリース・レンタルを使う方が有利だということが認識されているようである。

建設機械レンタル業のうち、本格的な修理および整備工場を持っている会社と、そういったものを外部に依頼している会社の割合はどうか。

●90%位は自社で保全、修理をする。一般的に規模（企業）が大きくなるにしたがって保全・修理作業の完全設備を持つ傾向にある。

雇用調整給付金支給業種 指定申請の経過報告

—— 貴重な権利のご活用を願う ——

関東メンクリース協会

副会長 志茂 法人



昭和50年は、建設機械リース業にとって実に長い一年でありました。この不況の中にあつて、いくらなんでも国が放っておくはずがない、と腹の中ではある「期待」を持ってはいたのですが…。かえりみればほんとうによく辛棒した一年の一語に尽きました。

それは昨年暑いある一日、不況対策会議を開きました。この不況の最中に仕事は減り、従業員を遊ばせ、このままだでもじり貧状態を続けてゆくわけにはいかず、何か妙案はないものかといろいろ論議しました。そして少しでも会員各位の役に立つものなら雇用保険法の適用を考えたのであります。

早速、労働省と折衝を始めました。はじめのこととはいえ、いや色々不明確な点が出てまいりました。例えば業種に対する認識（サービス業として貸しおしほり屋と同等にされた云々）、また、その中の産業分類が何であるかという点等、本省のいう生産、出荷、在庫等を私共の業種では何という名称にあてはめるか、本省事務官に納得のいく説明をするためにも必要なので、役員の方々と相談し、売上高、稼働率および保有台数、遊休機械という名称で作業を進めることにしました。保有台数については、連合会が発足当時、推定30万台という数字が記録されておりますが、たまたま私が建設省機械課から指名され連合会東京支部の調査担当委員を仰せつかっていた関係上、建設省の事務官と機種について相談しましたところ器具に相当する一部の機種は含まずとの意向もあり、これ

を考慮しながら草案作成を急いだのでありますが、ここに理解しにくい台数増という現象がありました。46年6万台、47年9万台、48年14万台、49年～50年はさらに漸増を辿るというお可笑な数字になりましたので、保有台数中の機種を再調査し、また廃車、屑化等の数を算出し、かつ労働安全衛生法に基く安全確保事項に適合する機械を集計しながら修正しました。

最終結果の数字は次の通りです。

年 度	売上高	稼働率	保有台数
昭和48年 1ヶ月平均	96.8億	70%	14.1万台
“ 49年 “	81.7”	59”	13.9”
“ 50年(9月迄) “	61.7”	45”	13.2”

この原案をもって担当役員に提示し賛成を得、11月18日労働省に提出したのであります。12月3日許可になるとの知らせがあり、12月6日付官報（第14679号）に公示されました。労働省告示第90号、指定期間自昭和50年12月1日至昭和51年5月31日の6カ月間の雇用調整給付金支給対象業種指定の認可を受けた次第です。

終りに臨み、この雇用保険参考資料の作成に当りましては、連合会会員の皆様をはじめ、事務局のご協力を得、かつまた、山内連合会会長の信念と絶大なる活動力に負うところ多大でありました。心からお礼申し上げます。

なお、同給付金については所轄の職業安定所にお問い合わせ下さい。

新規加盟ごあいさつ

組合員の健全な発展を期待

兵庫県建設機械協同組合リース部会

部会長 桐月 正邦



昨今の経済情勢の混迷と不況の余波は、われわれリース業界といえども例外ではなく、それにも増して業界の乱立および不当競争は目に余るものがあります。

このような時期に当り、全国建設機械リース業連合会への加盟が認められ、全建リース連の指導力、団結により健全なる運営と発展を期する上からも兵庫県下の組合員一同は今回の加盟に大いに期待しております。

先般の博大会理事会においても、不当競争によるリース料金の乱れが大きくとり上げられましたが、兵庫県下においても全く同様の問題点を強く感じており、全建リース連の統制力および政治力により業界の自粛を促し、健全な発展のための方策を早急に講じていただくよう強く要望いたします。

兵庫県下のリース部会も発足して日が浅い

も拘らず、会を重ねるごとに真剣に、この問題と取り組んでおり、全建リース連に対しても次のように要望したいと考えます。

まず、われわれリース業をご利用いただくゼネコンもしくは使用者に対し、関係諸官庁の強い指導を仰ぎ、組合加盟業者の責任ある整備と、良心的なアフターサービスのできる機種または組合員から使用すること等を強く要望すると共に、早急にそのためのルールの確立を計り、同時に不当競争等の違反組合員に対しては除名等の強い制裁措置を行う等の方策を打ち出していただきたいと思ひます。

また、非加盟の業者に対しても、社会的連帯の責任と必要性を説き、組合への加入を強く訴えると共に、ユーザー並びに関係業界へのPRを推し進め、一致団結による組合員の健全な発展を期待し入会の挨拶といたします。

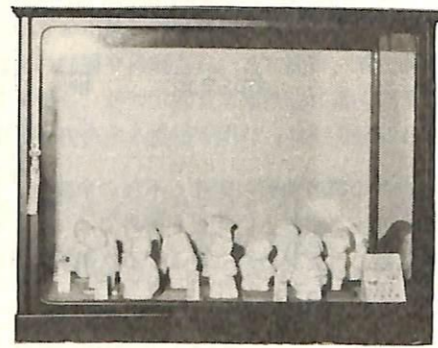


郷土民芸・三春張子(腰高虎)大黒屋芳信作
福島県建設機械仮設リース業協会

全建リース連
と
郷土民芸



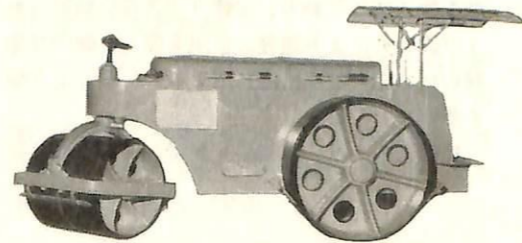
全国建設機械リース業連合会会章
東京建設機械リース業協会



ふるさとの人形シリーズ(わらべ人形)秀峰作
専務理事 香取哲男



ヨーロッパ風景画(油絵)
北越工業株式会社



ローラー(見本)
渡辺機械工業株式会社

各地区からの寄贈です

連合会本部事務所で、それぞれ保管・飾り付けいたしております。

ご寄贈いただいた各地区協会組合ならびに各位に対し、紙上ながらお礼申し上げます。



喜多陶器(皿)
中部建設機械リース業協会



新島増子(壺置台)
ギリシヤ製壺
神奈川県建設機械リース業協会



加賀獅子頭(桐ケース付)
石川県建設機械リース業協会



産業機械新聞社・ノダ企画
日刊建設工業新聞社・日刊建設産業新聞社
花瓶(ドイツ製)



博多人形(黒田節)
九州建設機械リース業協会

主要行事一覧

<50年7月19日～50年12月11日>

合同委員会

50年7月19日 本部事務所。PM 2時～5時
出席者 (敬称略) 委任出席 14名。
小野義隆、赤沢善太郎、石井嘉一、山内鹿蔵、小俣実、三瓶徳司、小林鈴夫、福山勝、高野勇、藤井孝治、後藤毅、真宅康博、会田寅次、志茂法人、湯浅恭典、中村憲、水品潔、源藤作、谷津倉保、宮野正三、二宮緑郎、坂井照、小出精一郎、広田正男、志茂坂敏、畑享佑、林田陽一郎、松井重雄。

〔議案〕

- ①新事務局開設に伴う備品等の件
- ②不況に伴う大手メーカー参入阻止再確認の件
各メーカーに対し、リース業界に参入しないよう要望書を発送することとなり、文案を企画委員に一任。
- ③未加入会員(地区団体)加入促進の件
- ④建設省の第1回賃貸業実態調査経過報告
- ⑤会員看板申込み取りまとめの件
- ⑥第4回理事会の件
- ⑦技能検定の準備委員推せん、および委員会(中央)経過報告
- ⑧雇用調整給付金支給対象業種の指定具申について

50年12月11日 本部事務所。

〔議案〕

- ①重機協議会について— 別項参照。
- ②会報の発行について

- ③第2回建設機械賃貸業調査(建設省)について
- ④51年度機種別保有台数調査の実施について各地区別に適宜実施する。
- ⑤51年度原価計算算定要領の作成について仮設資材も含めて実施・作成し、建設省の指導価格となるよう研究をすすめる。
- ⑥雇用調整給付金支給対象業種について別項参照。
その他。

企画委員会および本部役員合同会議

50年8月18日 連合会事務所
出席者 (敬称略)

山内鹿蔵、三瓶徳司、福山勝、藤井孝治、真宅康博、会田寅次、志茂法人、中村憲、源藤作、宮野正三、二宮緑郎、志茂坂敏。

委任出席 西垣勝行、小俣実、広津三好、野口誠輔、中山照夫。

〔議案〕

- ①10月開催予定の理事会について
- ②委員会組織案の件
重機部門協議会を結成することになり、宮野正三(中部)会田寅次、志茂法人(メンク)の各氏にて理事会までに案を検討し提出することとなった。なお渉外委員についてはすべて東京4団体に一任。
- ③メーカーのリース参入に対する要望事項具申案の検討について
- ④雇用保険(調整給付金指定業種)適用申請の資料収集について。
その他。

主要行事一覧

理事会

50年10月26日 福岡市、西鉄グランドホテル
出席者 (敬称略)
理事 伊藤鉄雄、阿部喜平、山内鹿蔵、西垣勝行、小俣実、三瓶徳司、藤井孝治、会田寅次、谷津倉保、宮野正三、坂井照、小出精一郎、志茂坂敏、永田仁作、野口誠輔、三原達雄、林田陽一郎、香取哲男。
代理出席 木立将量、岩崎昇、副田正夫
委任状 伊藤巳代吉、高村邦彦、高島博行、大知国治。
監事 小林鈴夫、小松一平、福山勝
参与 塩崎昌也、丹羽信雄、田中一雄、畑享佑、桐月正邦、吉沢晃、松山庚、木下浅一、矢野俊昭、九州地区 15名出席。



司会進行 矢野俊昭氏(九州地区副会長)
△開会の辞 林田陽一郎氏(九州地区会長)
西のはて、九州まで多数皆様のご列席をいただき誠にありがとうございます。不況のなか各地区におきましても大変なことと存じます。当地区からも多数出席させていただき共に研修さ

せていただくことになり誠にありがとうございます。

△会長あいさつ 山内鹿蔵氏

今回、九州支部各位のご尽力により、発展途上を漢進しつつある福岡市において第4回理事会を開くことになりました。この理事会が有効かつ有意義なものになりますようご協力をお願いすると同時に、決定されたことは実行に努め、連合会のますますの発展を図りたいと存じます。△議長に山内会長を選出して審議に入る

〔議案〕

- 第1号議案 大手メーカー参入阻止要望書について(本部)
- 第2号議案 各地における不況対策の普及(本部)

山内議長、小俣理事、福山参与より、東京における値崩れをふせぐため、東京協会では不況対策協議会を開催、成果をおさめたこと、18社において価格の作成であゆみよりをみた等の説明あり。各地区より東京の価格表を一部送付してもらいたいとの申出があり、各地区とも不況対策についてはそれぞれ検討することで了承。

- 第3号議案 全建リース連重機部会(または連絡協議会)の設置(本部)

宮野副会長より設置要望書ならびに仮称規約案の説明あり。結論として小委員会(中部・宮野正三、日本重機械・藤井孝治、関東メンク・会田寅次、関東重機・高村邦彦、兵庫県西部・大知国治の5氏)にて宮野副会長が主体となり、扱い機種をどうするかなど、次回理事会までに決定がみられるよう検討することで了承。

- 第4号議案 50年度後期技能検定中央委員会の経過状況(本部)

塩崎中央委員(東京)から説明あり。

- 第5号議案 「雇用調整給付金の支給対象業種」の指定上申状況(本部)

主要行事一覧

各地区から集計されたものを最終集計し、労働省に提出準備中。

第6号議案 会員看板の完成(本部)

第7号議案 兵庫県建設機械協同組合リース部会の加盟承認の件(本部)

山内議長より新加盟協会についての説明と加盟承認証の伝達あり全員一致で了承。

第8号議案 第5回理事会開催地区について日本重機械リース業協会の担当により開催詳細を検討することとなる。

第9号議案 叙勲(春)の推せんについて

第10号議案 適正なリース料金の確保について(四国)

三原理事より、中央から四国に進出する業者が安い価格を打出すので困まっている。料金の確保に協力してもらいたい。なお、地区会長、連合会長に協力方を進めてもらい反省を求める委員会を作って検討しては、地区の進出・料金問題については合同委員会において検討しては、等の意見がそれぞれ出され了承。

第11号議案 統一料金違反業者に対する組合除名(兵庫県リース部会)

統一料金に違反する業者を組合から除名する等の強固な手段を取ってはどうかのリース部会(兵庫県)よりの意見。そのような業者は自滅するのではないか等の意見も出、結論に至らず。

第12号議案 組合員の意義の高揚(兵庫県リース部会)

大いに資質の向上を図り組合員、協会員であるという誇りを高揚するよう一層努力することです承。

第13号議案 登録制実施の推進(大阪)
実施に1日も早く近づくよう努力することです承。

第14号議案 業界の健全な発展のため零細業

者を不当に痛めないよう大手ゼネコン等に歎願してはどうか。(中国)

大手ゼネコン等から取引中止されるのがこわくて言われるままの料金で納入している業者がみられるため。しかし結論に至らず。

第15号議案 中央業者(大手業者)が地方に進出する場合は地区協会と事前に協議を行ない、必ず協会に入会すること。(宮城県)

入会するよう各地区とも進めることです承。また、一部地区から入会はしても協力しないものあり、中央より指導してもらおうとの意見が出され、努力することです承。

第16号議案 連合会スローガン作成について(中部)

全員一致で賛成。次回理事会で審議できるように各地区からアンケートを募集、その中から選出することとなった。

第17号議案 「定」の励行とPR(中部)
各業界にそれぞれPRをする。

第18号議案 経営に関する手引書の作成について(中部)

坂井理事より、お互いに勉強し向上していくための方向を形造るための経営に関する手引書を作成してはどうかの説明あり。実践できる案を坂井理事の所で作成してもらい次回理事会に提出するということです承。

第19号議案 日本ローラリース協会→日本重機械リース業協会に改称の件

第20号議案 連合会をより強力な団体に(九州)

九州・宍戸氏より、不況下、徹底した協会意識に立ち、不良業者は排除するような強力な団体とするべきではないかの意見あり。今後とも活動を活発にし、強力な団体づくりを推進することになった。

その他の行事

5月19日=建設省訪問。第1回建設機械賃貸業実態調査書類受領

5月26日=同調査書類、各地区に発送

5月29日=本部役員会議。本部事務所、PM 2時~5時。出席者7名。

6月11日=建設省訪問。山内会長、西垣理事、香取専務理事。挨拶のため。

7月1日=本部事務局が、東京都千代田区神田駿河台2-1、近江兄弟社ビルに移転。

7月9日=労働省訪問。雇用調整給付金支給対象業種指定の調査依頼のため。山内会長ほか5名。

7月14日=本部事務局、上記ビルの4階に再移転。

7月19日=合同委員会。別項参照。

8月12日=建設省訪問。事務局移転届。

8月14日=建設省にて第2回建設機械賃貸業実態調査の打合せ会。福山調査委員ほか4名。

8月29日=ヨーロッパ研修渡航打合せ会。

10月1日=日本ローラリース協会が「日本重機械リース業協会」に名称変更。

10月3日=本部役員会議。本部事務所AM 10時30分~PM 4時30分。山内会長ほか10名。

10月7日~17日=アメリカ・レンタル業界視察。

10月26日=第4回理事会。

11月12日、13日=建設省訪問。叙勲の件。

11月18日=労働省訪問。雇用調整給付金支給対象業種の指定種類、最終提出。

11月25日=建設省訪問。第2回建設機械賃貸業調査資料、各地区へ発送のため。

『連合会スローガン』を募集!

連合会では、「スローガン」を募集しています。ふるってご応募下さい。

なお、スローガンは、短く、しかも連合会組織の団結、強化、向上等を計るに相応しいもの。

※ 締切りは1月末日までです。お早めに各地区協会・組合事務局までお送り下さい。

謹賀新年 50音順

北海道建設機械リース業協会正会員一同

正会員名	代表者名	電話	所在地	郵便番号
㈱旭川機械リース	橋本 脩二	0166-23-8222	旭川市10条13丁目右1号	070
葵機電産業㈱	村上 教輸	011-861-9524	札幌市白石区菊水元町129	062
㈱伊藤機械店	伊藤儀太郎	011-211-6326	札幌市中央区北2条東3丁目	060
栄進産業機械㈱	稲垣 光夫	01572-4-3505	北見市東相の内173番地	099 ~08
㈱大西篤一商店	大西 進	0166-26-2161	旭川市常盤通り3丁目	070
(有)大居ポンプ工具店	大居 藤与	01552-4-2261	帯広市西17条北1丁目25番地	080
片桐機械㈱	片桐繁次郎	011-261-0256	札幌市中央区南1条東3丁目	060
㈱カナモト	金本 善中	0144-23-3324	室蘭市港南町1丁目134番5号	051
共成電機産業㈱	小黒 謙治	0155-37-3499	帯広市西18条北1丁目14番地	080
栗林リース㈱	栗林 徳光	011-241-0340	札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル	060
㈱小西機械	小西 英子	0166-48-7011	旭川市流通団地4条5丁目	072
小松鋼機㈱	小松俊文夫	0154-22-9125	釧路市浪花町6丁目11番地	085
佐々木鉄工建設㈱	佐々木 一	011-661-3903	札幌市西区手稲宮の沢1北1丁目	065
昭和機械リース㈱	蝦名 民雄	01572-4-2535	北見市大通り東5丁目	090
新川工業㈱ 札幌営業所	石橋 巖	011-881-1314	札幌市豊平区真栄29番地の6	061 ~01
相互機械㈱	西村 茂雄	011-862-3671	札幌市白石区中央3条5丁目	062
㈱大鉄	伊藤 鉄雄	011-241-5086	札幌市中央区大通東3丁目	060
㈱谷内機械	吉内三之助	0143-44-5574	室蘭市中島町4丁目1番5号	050
東北機械㈱	伊藤 友幸	011-741-2121	札幌市東区北10条東8丁目	065
鳥羽機興㈱	鳥羽 広司	011-611-7515	札幌市西区24軒4条4丁目46番地	068
中道レンタル㈱	中道 昌喜	01138-3-5211	江別市角山20番地の3	067
㈱長和石油	高橋 勲	01442-3-5634	伊達市長和467の2	052
檜崎石油商事㈱	森山 建美	011-231-0601	札幌市中央区大通西5丁目大五ビル	060
日英内然機械工業㈱	宮沢 利市	011-241-5888	札幌市中央区南4条東4丁目	060
日邦商事㈱	山石 祐一	011-871-6849	札幌市白石区平和通6丁目南36	062
ニッケン北海道㈱	渡辺 博徳	011-751-4082	札幌市東区北37条東1丁目	065
日本建機サービス 販売㈱	富山 政明	011-271-2585	札幌市中央区大通り東12丁目	060 ~21
花輪石油㈱	花輪 政男	0166-23-1261	旭川市5条通り8丁目花菱ビル	070
北海機電産業㈱	土本 繁春	011-861-2744	札幌市白石区平和通り12丁目	062
北海産業機械㈱	伊藤 武史	0144-34-9400	苫小牧市日の出町2丁目13の23	053
北海道通商㈱	山本 富一	011-781-0161	札幌市東区東雁木町13番地	065
北海道ユニカ建販㈱	山内 黎一	01137-7-8543	札幌市東区東雁木町117の1 三和ビル	061 ~12
松本機械㈱	松本 常義	011-821-0976	札幌市白石区菊水上町36番地	062
㈱皆川機械店	皆川武武一	01572-3-3711	北見市本町2丁目17番地	090
ユナイテリース㈱ 札幌営業所	富山 久男	011-281-6205	札幌市中央区北2条東3丁目 セントラルビル	060
㈱ワキタ札幌営業所	脇田 富美男	011-823-7671	札幌市白石区菊水上町100番地	062

謹賀新年 50音順

宮城県建設機械リース業協会正会員一同

正会員名	代表者名	電話	所在地	郵便番号
青葉商工㈱	阿部 喜平	0222-56-0126	仙台市小田原弓ノ町31	983
㈱鈴孝建機リース	菅原 隆夫	0222-45-0631	仙台市鉤取字東原4~1	982
小野リース㈱	小野 義隆	0222-88-5534	仙台市六丁目字小荒井裏2-2	983
館内機械産業㈱	館内 勝男	022386-3539	宮城県宮城郡宮城町下愛子上下62	989 ~31
開盛機械工業㈱	後藤 孝雄	0222-61-2525	仙台市春日町8~26	980
機広商事㈱	川元 清志	0222-57-1295	仙台市宮千代1丁目20~19	980
共進電機工業㈱	太斎 喜久雄	0222-57-3241	仙台市日の出町1丁目2~10	983
三盛電工㈱	盛崎 孝三	0222-34-6341	仙台市小田原高松70	980
㈱三洋機械	浅野 健児	0222-92-4791	仙台市卸町3丁目1~20	983
サンエー工業㈱ 仙台営業所	早坂 弘美	0222-94-5081	仙台市南小泉大字大竹15~3	983
三洋機械㈱	菊地 美文	0196-37-2341	岩手県盛岡市郊外矢手流通団地 卸町	020
セントラル機工㈱	赤沢 善太郎	0222-57-1691	仙台市宮城野2丁目7~48	983
第一建機実業㈱	久保田 雄	0222-41-0662	仙台市中田町中河原25~1	981 ~11
滝田工業㈱	滝田 秀司	02295-2-2331	宮城県志田郡三本木町善並田154~1	989 ~63
中外リース㈱	菅原 惇一	0222-92-5781	仙台市卸町3~1~23	
出羽商事㈱	佐藤 友治	02342-3-1331	山形県酒田市千石町1~1~38	998
東建リース鋼業㈱	成田 春男	0222-92-1171	仙台市中倉二丁目24~5	980
東北グレーダー㈱	石井 嘉一	02237-2-8231	宮城県泉市松森字中道81	981 ~31
氏家重機建設㈱ 仙台営業所	金子 武男	02237-2-6817	宮城県泉市松森字齊兵衛44	981 ~31
東北部品販売㈱	佐久間 亮之郎	02238-2-0926	宮城県名取市本郷字観音224~4	989 ~24
東北リース㈱	菅野 安清	0222-86-7354	仙台市南小泉門田東11	982
日商機械工業㈱	小原 寛司	0222-62-8211	仙台市国分町3丁目10~21~403	980
日経リース㈱	根本 勝	0222-63-1285	仙台市国分町1~6~8	980
西尾リース㈱ 仙台営業所	柚木 晃	02237-2-6764	泉市七北田字大沢大ケ沢9~83	981 ~31
日建産業㈱ 仙台営業所	遠藤 省一	0222-88-5490	仙台市六丁目曲道南9~1	983
東日本コンベア㈱ 仙台営業所	浜崎 憲二	0222-86-6186	仙台市若林4丁目9~13	982
富士建機リース㈱ 仙台支店	阿部 秀哉	02238-2-5171	宮城県名取市飯野坂字南沖1~1	981 ~12
北東機械工業㈱	三浦 賢策	0178-43-5881	八戸市沼館1~9~20	031
宮城グレーダー工業	伊藤 直人	02203-4-3145	宮城県登米郡中田町宝江新井田字 南新田493~3	987 ~05
山中産業㈱仙台営業所	高橋 登	0222-94-7231	仙台市扇町3丁目4~23	980
山形セントラルリース㈱	石井 淳三	0236-41-4831	山形市蔵王成沢218~1	990 ~23
ユナイテリース㈱ 仙台支店	豊田 忠一	0222-66-3166	仙台市一番町2丁目3~20 第3オフィスビル	980
㈱ワキタ仙台営業所	三宅 俊昭	0222-93-0602	仙台市田子字大検7	983

謹賀新年 50音順

建設機械一般

株式会社 オマタ土鋤機商会

社長 小俣 実

〒150 東京都渋谷区東2-29-3

☎ 03 (400) 2591 (代)

各種
フォークリフト・ショベルローダ
賃貸・販売・修理

関東フォークリフト
サービス株式会社

社長 松尾 茂

〒135 東京都江東区毛利2-2-8

☎ 03 (633) 0151 (代)

建設機械一般及び仮設機材

小松物産リース株式会社

社長 小松 一平

〒121 東京都足立区西保木間1-14-8

☎ 03 (884) 1066 (代)

ベルトコンベア製造・リース専門

三明興業株式会社

社長 山内 鹿蔵

〒150 東京都渋谷区恵比寿南2-20-14

☎ 03 (711) 5471 (代)

建設機械一般

三瓶重機車輛株式会社

社長 三瓶 徳司

〒175 東京都板橋区新河岸2-9-5

☎ 03 (938) 7200 (代)

建設機械一般

三和リース株式会社

社長 西垣 勝行

〒123 東京都足立区鹿浜2-25-18

☎ 03 (897) 7766 (代)

謹賀新年 50音順

土木建設機械総合リース
及び推進工事用機械器具
製作、リース

新川工業株式会社

社長 新川 大吉

〒132 営業本部 東京都江戸川区宇喜田219

☎ 03 (687) 1641 (代)

建設機械一般

株式会社 城南建材社

社長 小林 鈴夫

〒157 東京都世田谷区砧公園2-3

☎ 03 (700) 9794 (代)

バイブロ・発電機
コンプレッサー・水中ポンプ

新電気株式会社

社長 小沼 光雄

〒132 東京都江戸川区南船堀町7880

☎ 03 (687) 1411 (代)

建設機械一般

大正建機株式会社

社長 西野 正

〒144 東京都大田区多摩川2-15-4

☎ 03 (759) 8281 (代)

各種ポンプ製造
販売、リース、修理

大都機械株式会社

社長 塩崎 昌也

〒170 東京都豊島区東池袋1-32-4(藤栄ビル)

☎ 03 (984) 1618 (代)

建設機械賃貸・製作・販売・修理

株式会社 日邦

社長 中村 勝彦

〒110 東京都台東区上野7-11-7

(川村ビル)

☎ 03 (843) 3856 (代)

建設機械一般

東日本コンベア株式会社

社長 高野 勇

〒160 東京都新宿区番衆町36

☎ 03 (351) 7181 (代)

土木建設機械総合リース

双葉リース株式会社

社長 福山 勝

〒133 東京都江戸川区南篠崎4-284-1

☎ 03 (679) 1236 (代)

シートパイル・レール・架設材

株式会社 柳沢商店

社長 柳 沢 彰

〒104 東京都中央区勝どき3-5-6

シヤンボール築地204

☎ 03 (531) 8591 (代)

建設機械総合商社

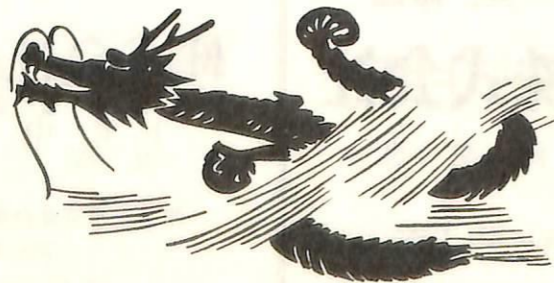
株式会社 ワキタ 東京支店

支店長 砥石 治雄

〒103 東京都中央区日本橋兜町2-55

(共同ビル4F)

☎ 03 (668) 0821 (代)



日本重機械リース業協会 正会員・賛助会員一同

(正会員)

株式会社 青木企業
旭建商株式会社
朝日重機建設株式会社
株式会社 相川重機
東 リ ー ス
株式会社 イマギイレ
株式会社 既橋鉄工所
栄国建機株式会社
大高重機株式会社
関東重車輻株式会社
関東フォークリフト株式会社
関東機工株式会社
神野重機株式会社
株式会社 共福商会
協和建機株式会社
小林 リ ー ス
小松物産リース株式会社
サンコーリース株式会社
三楽リース株式会社
三和通商株式会社
株式会社 三幸重機
三機商事株式会社
有限会社 桜井建機
産栄リース販売株式会社
有限会社 三明商工
昭和建興株式会社
新川工業株式会社
新栄建機株式会社
松栄重機株式会社
新晃重機株式会社
新功商事株式会社
有限会社 鈴木商会

鈴本土木株式会社
世田谷リース株式会社
仙波土木株式会社
太陽リース株式会社
大建機械株式会社
多摩リース工業株式会社
多摩重機株式会社
ツクバ建機株式会社
鶴島建機株式会社
有限会社 塚原商店
有限会社 富岡重機
東京レンタル株式会社
戸田建機レンタル株式会社
東都リース株式会社
日機工業株式会社
日本機工株式会社
日研企業株式会社
株式会社 日建リース
西尾リース株式会社
日建産業株式会社
ニッケンダイヤリース株式会社
野村建設機械株式会社
野村重機工事株式会社
光興業株式会社
武久興業株式会社
株式会社 福永組
双葉商事株式会社
平和舗装機株式会社
丸栄建設工業株式会社
株式会社 丸藤
真弥機業株式会社
有限会社 三丸建機
ヤマサン工業株式会社

ユナイテリース株式会社
吉田産業株式会社
リフト商事株式会社
有限会社 渡辺建興

(賛助会員)

川崎重工業株式会社
ガ德里ウス株式会社
キャタピラー三菱株式会社
株式会社 小松製作所
酒井重工業株式会社
ダイハツディーゼル株式会社
大旭建機株式会社
東京建機株式会社
東京産業株式会社
長岡技研株式会社
日熊工機株式会社
日平産業株式会社
マイカイ貿易株式会社
三菱重工業株式会社
三笠産業株式会社
株式会社 明和製作所
湯浅金物株式会社
ラサ商事株式会社
渡辺機械工業株式会社

謹賀新年 50音順

建設機械賃貸・修理・販売

大塚機械株式会社

代表取締役 大塚 喜一

〒220 横浜市西区平沼1丁目21番4号
☎ 045 (323) 2221 (代)

神奈川県建設機械リース業協会理事

建設機械賃貸・修理・販売

木立機材工業株式会社

代表取締役 木立 将量

〒221 横浜市神奈川区綿花町1丁目4番4号
☎ 045 (461) 1481 (代)

神奈川県建設機械リース業協会副会長

建設機械賃貸・修理・販売

常盤工業株式会社

代表取締役 源 藤作

〒232 横浜市中区かもめ町22号
☎ 045 (622) 8871 (代)

神奈川県建設機械リース業協会理事

建設機械総合リース・レンタル業

株式会社 中村商店

取締役社長 中村 憲

〒220 横浜市西区平沼1丁目2番23号
☎ 045 (321) 1641 (代)

神奈川県建設機械リース業協会会長

建設機械賃貸・修理・販売

有限会社 松屋機械工業

代表取締役 谷津倉 保

〒250 神奈川県小田原市成田808番1号
☎ 0465 (36) 5115 (代)

神奈川県建設機械リース業協会理事

建設機械販売・賃貸

株式会社 山敬商会

代表取締役 山田 敬太郎

〒236 横浜市金沢区鳥浜3丁目7番地
☎ 045 (775) 1111 (代)

神奈川県建設機械リース業協会副会長

謹賀新年 50音順

何んでも貸します

近藤産興株式会社

〒457 名古屋市南区大同町2-3
☎ 052 (611) 5561 (代)

総合土木機械のリース
機械土木工事

リースのミヤノキカイ

〒456 名古屋市熱田区二番町2-89
(国道一号線)
☎ 052 (681) 5766 (代)

建設機械、産業機械

販売、リース・レンタル、修理、据付、輸出

大和機工株式会社

代表取締役 坂井 熙

名古屋市中村区広小路西通3-9(信泉ビル)
☎ 052 (582) 5131 (代)



社団法人 全国建設機械リース業連合会九州支部

支部長 林田 陽一郎

外 会 員 一 同

事務局 福岡市東区箱崎7丁目1-24 西鉄建機内

電話 092-631-1331

謹賀新年 50音順

建設機械と
コンプレッサー・サンドブラストの
販売・賃貸・修理

株式会社 秋田商店

〒532 大阪市淀川区十八条1丁目8-38
☎ 06(399) 5441(代)

貴社に作業の効率化、省力化を
それが当社の願いです。

土木建設機械賃貸・販売
茨木機械株式会社

代表取締役 宮田 幸則

本社 茨木市下穂積1丁目6番22号
☎ 0726(23) 0941(代)
機材センター 茨木市安威1477
☎ 0726(43) 6718

建設機械リース・レンタル
産業機械製造販売

音頭金属株式会社 大阪支店

取締役支店長 構 孝雄

〒551 大阪市大正区南恩加島町1番90
☎ 06(553) 3761(代)

建設土木機械リース

株式会社 関西機工

取締役社長 志茂坂 敏

〒556 大阪市浪速区東神田町873-1
☎ 06(561) 8601(代)

水中ポンプ・発電機
専門リース

システムレンタルのバイオニア

旭栄興業株式会社

取締役社長 岩崎 昇

〒535 大阪市旭区大宮1丁目11番15号
☎ 06(955) 2020(代)

27 創業41年
年 賃貸をはじめて 土建機械・建設資材
現場用組立ハウス

賃貸～販売

相互土建機械株式会社

本社 大阪市浪速区久保吉町1242 ☎556
☎ 06(568) 1234(大代表)
滋賀営業所 滋賀県栗太郡栗東町大字出庭天白 ☎520-31
☎ 07755(2) 2143(代)～5

謹賀新年 50音順

エンジン 発電機 建設機械・賃貸・販売・修理
溶接機

大東興業株式会社

代表取締役 塚崎 誠康

〒660 尼崎市杭瀬南新町2丁目60番地
☎ 06(488) 4081～4085番

業界発展のため、一層
努力いたします!

・土木・建築・道路機械のリース・レンタル・販売

ニシオリース株式会社

取締役社長 西尾 晃

営業部

東北・関東・名古屋・関西
中国・営業開発・仮設機材

本社・大阪市南区鰻谷中之町67番地(西尾ビル)
☎ 06(251) 7302(代)

あらゆる建設機械と各種ポンプ
レンタル&リース

有限会社 日商機械

営業所 ☎ 06(561) 2044番・6137番
(568) 3211番

大阪市浪速区芦原町1176-3
(立葉町バス停一ツ東辻南50m)
本社 ☎ 06(568) 3236～3237番 夜間兼用
大阪市浪速区木津川1丁目7番地の2

コンプレッサー バイブロハンマー
賃貸 販売 修理

北越工業(株)コンプレッサー(指定サービス工場)
三井精機(株)コンプレッサー(指定サービス工場)
伊丹工業(株)バイブロ(指定サービス工場)
日平(株)バイブロ・デンヨー発電機(販売・修理)
東洋さく岩機(株)日本ニューマチック(株)販売代理店

株式会社 廣津機械工業所

大阪市浪速区桜川5丁目1423 但し大浪橋東詰
☎ 06(562) 7201(代)～6番
第一工場 ☎(561)4616 第二工場 ☎(561)4321

仮設材のリース・レンタル
パイプリベア }
パイプケレン機 } 販売・リース
ゴールデンベッド }

山一仮設株式会社

代表取締役 渡辺 昇

〒538 大阪市鶴見区茨田大宮町368-1
☎ 06(912) 1151(代)

杭打船の
リース・レンタル

株式会社 和田工業所

取締役社長 和田 繁夫

〒550 大阪市西区本田3番丁15番地
☎ 06(581) 0051(代)

謹賀新年

50音順

中国建設機械リース業協会正会員一同

会社名	代表者名	電話	住所	〒
阿川機工 株	島田幸治	(0822)21-2341	広島市鞆町10-25	730
石田リョウキ 株	石田敏雄	(0833)46-0017	下松市山田下46-1	744-01
伊藤機械産業 株	伊藤良雄	(0833)41-4649	下松市平田東	744
大広機械工業	加藤博巳	(0822)32-4660	広島市中広町2-1-3	733
音頭金属 株 広島営業所	加藤昭治	(0822)61-4188	広島市曙町3丁目34	730
極東リース 株	中省三	(0862)63-1635	岡山市豊成485-4	700
熊谷電機工業 株	熊谷健一	(0822)31-0544	広島市南観音町6-12-10	733
光東自動車工業 株	東宗雄	(0834)25-1201	徳山市大字栗屋字塩田365-1	745
寿工業 株	村上聖之	(08246)3-7151	三次市十日市町2414	728
山陰リース	佐藤秀松	(0859)33-0592	米子市博労町3-185	683
三共リース 株	日笠保男	(0862)31-2305	岡山市東古松5-7-16	700
山陽機械センター	統木偵祝	(0834)31-6191	徳山市築港町5-1	745
品川鋼材 株	品川末治	(08246)3-4128	三次市十日市町上原228	728
信和機工 株	増井義隆	(08287)4-6881	広島市福園町西原大蔵103-1	731-01
杉原商店	杉之原誠一	(0862)23-3012	岡山市青江805	700
泰宏工業 株 岡山営業所	平井許久	(0862)23-1121	岡山市富田町1丁目2-23	700
大徳商事 株	酒井徳康	(0848)23-2350	尾道市栗原西2-8-11	722
高橋産業 株 リース事業部	大本矩生	(0836)41-6066	宇部市厚南区妻崎開作	759-02
中国リース販売 株	坂本敏彦	(0822)44-7887	広島市光南2丁目23-2	733
東映ヤンマー販売 株 山陰建機リース部	山本稔	(0857)24-2385	鳥取市西品治町865-1	680
徳山リース産業	永富力雄	(0834)31-3137	徳山市月丘町3-25	745
富野機工 株	野口誠輔	(0849)53-3033	福山市曙町3丁目252-2	720
長浜産業 株	宇都宮義憲	(0823)72-5000	呉市阿賀中央4-4-12	737
西尾リース 株 広島営業所	東川鷹年	(08266)4-2567	広島市可部町大字大林字浜ヶ谷770	731-02
日研ポンプ 株 広島営業所	大成晋	(0822)54-0107	広島市宇品東6丁目7-16	734
原商リース 株	原田咲朗	(08526)6-1111	島根県八束郡宍道町大字白石80-10	699-01
広島機材商会	札幌正子	(0822)41-2554	広島市千田町1-5-21	730
広島菱機 株	森川照夫	(0822)53-3291	広島市出島町2-19-59	734
備前機械 株	津島富男	(0862)41-3954	岡山市西市八ノ坪273-4	700
備南電業 株	西山長男	(0864)55-4318	倉敷市中畝4丁目10-27	712
富士建機 株	福田猛	(0822)71-9021	広島市草津東1-1-8	733
富士建設機械 株 岡山営業所	漸山和也	(0864)65-3933	倉敷市中島松の内813-4	710
富士リース 株	藤原卓士	(086296)2271	岡山市藤田674-22	701-02
富和モーター 株 建機センター 広島事業所	山本高義	(0822)37-2581	広島市大宮2丁目3-15	733
丸島産業 株	島田勇雄	(0848)22-6191	尾道市栗原町西2-7-16	722
水電リース 株	渡辺広一	(0864)44-3890	倉敷市連島西之浦1008	712
安井機械店	安井博志	(0862)41-5337	岡山市野田416	700
安原建機 株	安原四郎	(0864)82-0557	倉敷市高須賀47	710
吉川機械岡山営業所	大山勇	(0862)41-7304	岡山市今保130-3	700
ヨシムラ機械工業	吉村敦夫	(0822)93-7777	広島市横川町1-12-13	733
ワキタ広島営業所	向江利安	(0822)72-4114	広島市庚午北4丁目7-25	733

謹賀新年

50音順

建設機械一般

寿工業株式会社

代表取締役 林 武男

☎728 三次市十日市町1540

☎ 08246(3)7151(代)

建設機械一般

高橋産業株式会社

代表取締役 高橋 清

リース事業部 宇部市厚南区妻崎開作

☎ 0836(41)6066(代)

建設機械一般

富野機工株式会社

代表取締役 野口 誠 輔

☎720 福山市曙町3丁目252-2

☎ 0849(53)3033(代)

三原営業所 ☎723 三原市皆実町1115

☎ 08486(4)2441(代)

建設機械一般リース

広島菱機株式会社

代表取締役 森川 照 夫

事業本部 広島市出島2丁目19-59
 ☎ 0822(53)3291
 営業所 広島市佐東町八木3151-1
 ☎ 08287(3)3500
 鳥取県米子市米原575
 ☎ 0859(33)5291
 島根県松江市東津田町堂前1056
 ☎ 0852(23)0433

建設機械一般

備南電業株式会社

代表取締役 西山 長 男

本 社 倉敷市中畝4丁目10-27

☎ 0864(55)4318(代)

四国出張所 香川県綾歌郡国分寺町国分

☎ 08787(4)1421

土木建設機械リース

水電リース株式会社

代表取締役 渡 辺 広 一

本 社 ☎712 倉敷市連島西之浦1008

☎ 0864(44)3890(代)

福山営業所 ☎720 福山市手城町13丁目北1400

☎ 0849(31)0194

編集後記

広報委員長

志茂坂 敏



新年あけましておめでとうございます。
 昨年は、景気回復が叫ばれながら期待はずれで終始したような状態でありました。今年こそ長い不況のトンネルを脱出し、少しでも需要回復の明るさを取り戻したいものです。幸い、51年度は、政府の予算案にもみられるように公共事業の大幅な増加策が打ち出されており、キメの細かな積極策がとられるならば景気見通しも徐々に明るい兆しが出てくるものと思われまます。そして今年は「タツ年」。「昇り竜」のごとく景気の上昇を期待したいものです。

さて、連合会会報「新年号」をお手元にお届けいたします。同会報も今号で創刊以来6号となりました。今後ともますます精進し、充実した会報を目指したい所存ですので、何卒よろしくご協力ご支援の程をお願い申し上げます。なお、末尾になりましたが、ご多忙中、執筆していただいた方々、ならびに協賛いただいた各位に対し、誌上ながらお礼申し上げます。

3月に理事会開く

全建リース連

全国建設機械リース業連合会は、3月11日、熱海のニュー赤尾ホテルで理事会を開く。

事務局長会議開く

今後は毎年9月に

全建リース連の各地区協会組合の事務局長会議が12月26日、本部事務所で開かれた。同会議には全国から7名が出席し、活発な意見の交換が行なわれた。なお、同会議は今後、毎年9月に定例的に開かれる。

今回は、神奈川県建設機械リース業協同組合の見学も併わせて行なわれた。



会報

第6 新年号

昭和51年1月22日発行

発行所 社団法人 全国建設機械リース業連合会
 東京都千代田区神田駿河台2-1 ☎101
 近江兄弟社ビル4階
 TEL (03)294-4071 (代)
 (03)293-7273 (代)

発行人 会長 山内 鹿蔵
 編集責任者 広報委員長 志茂坂 敏
 編集人 齋賀 文雄
 印刷所 商都出版印刷株式会社

会 員 名 簿

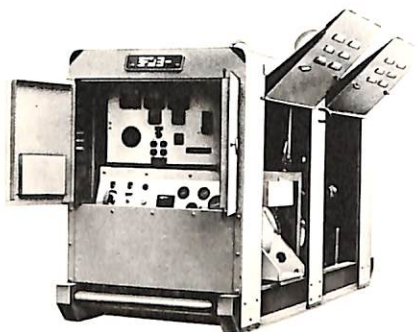
会 員 名 称	代表者名	事 務 局 所 在 地	電 話	郵便 番号	会員 数
北海道建設機械リース業協会	伊藤 鉄雄	北海道札幌市中央区南一条東三丁目片桐機械(株)内	011 (261)0256	060	36
宮城県建設機械リース業協会	阿部 喜平	宮城県仙台市小田原弓ノ町31青葉商工ビル内	0222 (56)0126	983	33
福島県建設機械 仮設リース業協会	佐藤巳代吉	福島県郡山市神明町12-8 神明ハイツ 311号室	0249 (34)0878	963	35
東京建設機械リース業協会	山内 鹿蔵	東京都千代田区神田駿河台2-1近江兄弟社ビル4F	03(294)4071 03(293)7273	101	115
日本重機械リース業協会	藤井 孝治	東京都千代田区神田和泉町1-1フェビル内	03 (861)4457	101	70
関東重機リース協会	高村 邦彦	東京都新宿区東大久保1-438 真弥機械(株)内	03 (352)3511	160	30
関東メンクリース協会	会田 寅次	千葉県船橋市宮本町1-21-8 安間ビル国土造営(株)内	0474 (23)0135	273	12
神奈川県建設機械リース業協会	中村 憲	神奈川県横浜市西区平沼1-2-23新中村ビル	045 (322)0613	220	55
静岡県建設機械リース業協会	高島 博行	静岡県三島市谷田字雪沢173-2和興産業(株)内	0559 (75)5436	411	13
中部建設機械リース業協会	坂井 照	愛知県名古屋市中区藤ノ宮通り3-43小出ビル内	052 (571)2080	451	28
石川県建設機械リース業協会	吉川 義孝	金沢市北安江町305-3 吉川ビル	0762 (62)4585	920	16
大阪建設機械リース協同組合	志茂坂 敏	大阪市浪速区桜川3-1-12 脇田第一ビル内	06 (562)1987	556	84
中国建設機械リース業協会	野口 誠輔	広島県福山市曙町3丁目252-2 富野機工(株)内	0849 (53)3033	720	41
兵庫県西部地区 重機建設業者組合	大知 国治	兵庫県姫路市飾磨区城南町三丁目31中山興業(株)内	0792 (37)0001	672	19
兵庫県建設機械協同組合 リース部会	桐月 正邦	神戸市須磨区外浜町2-9-19 関西建設機械(株)内	078 (733)2221	654	23
四国建設機械リース業協会	木下 浅一	香川県綾歌郡分寺町新居 四国仮設工業(株)内	08787 (4)2131	769 -01	23
九州建設機械リース業協会	林田陽一郎	福岡市東区箱崎7丁目1-124 西日本鉄道(株)電車局 建機営業部内	092 (631)1331	812	32

防音型への改造は

意匠登録出願中

今がチャンスです!!

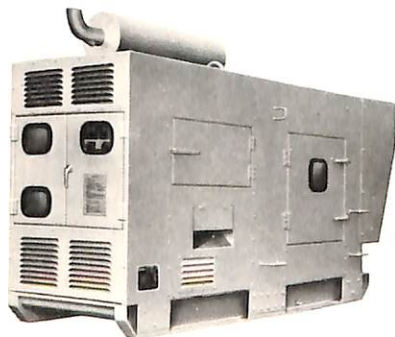
◎お手持ちのエンジン発電機を防音型に改造しませんか？



(お手持タイプ)



当社防音型のシンボルマークです。



(改造防音型)

外型寸法

(abt. mm)

機種	DCA-35	DCA-55	DCA-85	DCA-125	DCA-150	DCA-200
長さ (L)	2780	3100	3450	3550	3580	3830
巾 (W)	960	1050	1150	1200	1250	1350
高さ (H)	1740	1770	2150	2250	2350	2640

※仕様は予告なく変更することがあります

ボンネット製造元



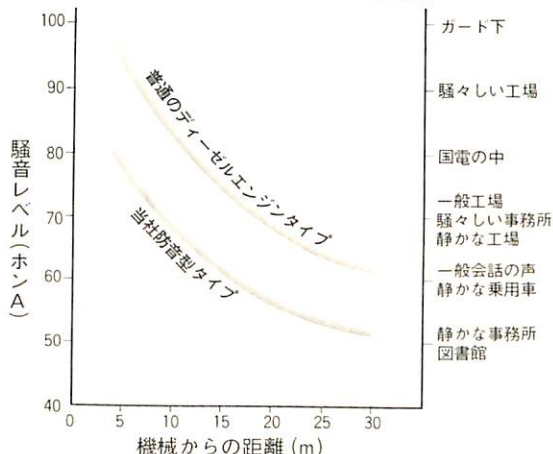
大東興業株式会社

本社 尼崎市杭瀬南新町2丁目60番地
〒660 TEL 06(488)代4081~5

改造の利点は!

- 1 騒音規制の心配もなく使用することが出来ます。
- 2 わずかな費用でコンパクトな防音型に生まれ変わります。
- 3 場所や時間を問わずいつでも使用することができ稼働率が良くなります。
- 4 改造型はボンネットに鉄板(3.2mm)を使用しているので、堅牢で耐久性がよく、優れた防音効果を発揮します。

●改造防音型発電機の防音特性



代理店